

# 北農校長通信

校長通信

第 19 号

平成 29. 5. 30 発行者 喜屋武 勝

## 北農ゆんたく市場



北農ゆんたく市場（ゆんたく市）が 5 月 19 日開催された。地域に愛される農業高校らしい、素晴らしい取組である。ただ、昨年度より来校者数が減ったとの声がある。広報の方法等を再度確認して、盛り上げていきたいものだ！

### 【ゆんたく市の目的】

- ①地域に開かれた学校づくりの取組
- ②学習の成果として生産物を販売
- ③各学科の取組や施設を紹介
- ④北農を地域の方々に広く知って頂く機会とする

となっ

ている。取組の充実を期待したい！

特に目的の、②については、生産の過程や学習内容についてのパネルやチラシ、③については、日頃の学習内容の紹介パンフなどの配布を検討してはどうだろうか。

また、近隣中学校の先生方への案内も有効だと考える。

今後の予定 6月16日、7月19日、9月15日、1月26日、2月16日

## 農業クラブ連盟リーダー研修会

農業クラブ連盟のリーダー研修会が、5月24日～26日の2泊3日の日程で名護青少年の家で開催された。宮古総実高校、八重山農林高校、久米島高校からも参加し、引率教員合わせて63名で開催された。この農クのリー研は今年で63回目といから歴史の長さには驚きである。研修は、交流会、分科会、登山・・・等々盛りだくさんの内容であった。

特に分科会は

テーマ1 「私達が学んでいる知識/技術を基礎として地域にどうすれば農業の魅力を伝えられるか」

テーマ2 「農業クラブの三大目標である『社会性』（コミュニケーション能力や積極性等）を身につけ、更に人間性を高めていくためにはどうしたらよいか」

テーマ3 「若者に農業の楽しさや魅力を伝え、将来的に農業関連産業従事者を増やすためにはどうすればよいか」



というテーマで行われ、KJ法などを取り入れ意見をまとめ、活発な議論が交わされていた。

素晴らしい取組であった。

本校の生徒 20 名もホスト校としての役割を果たし、各校との交流を深めたと思う。指導にあられた石嶺、神谷、登川先生、大変お疲れ様でした。

